

| | | | |
|---|----------------------|------------------------|--|
|  <p>一般社団法人熊本市保育園連盟</p> | <h1>市保連 だより</h1> | <h2>2024 (5月)</h2> | <p>令和6年5月1日発行 一般社団法人熊本市保育園連盟</p> |
| | | | <p>発行責任者 上野 誠之</p> |
| | | | <p>調査広報委員会</p> |
| | | | <p>委員長 今村 弘之 委員 宇治 正信 緒方 隼人 沖田 照生 角田 信也 豊田 亮</p> |
| | | <p>[第535号]</p> | <p>〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27 熊本市健康センター新町分室 2階 TEL(096)322-0096</p> |

3月臨時総会



令和6年3月19日(火)13時30分からくまもと県民交流館パレア 10F パレアホールにて令和5年度3月臨時総会を行いました。議長横田先生(ふわわ)の進行により第1号議案「令和5年度収支予算の変更(補正)について」、第2号議案「令和6年度事業計画について」、第3号議案「令和6年度収支予算について」、第4号議案「役員選任について」の全ての議案が承認されました。3月臨時総会にご出席いただきありがとうございました。

保育士等就職サポート研修会



令和6年3月3日(日)9時50分より熊本市青年会館にて講師に神戸大学大学院教授 北野幸子先生をお招きして令和5年度保育士等就職サポート研修会を開催しました。再就職支援事業として熊本市と当連盟での開催となり、再就職希望の方、参加希望の公立、私立の先生方も多数出席となりました。保育幼稚園課 岩下課長及び当連盟の上野理事長からの挨拶後に研修が始まりました。北野先生からは沢山の資料をご準備いただき、様々な事例をもとに内容の深い話をされ、参加者も興味深く聴いていました。これからの保育や保育の魅力を見つめ直す研修となりました。

乳児用呼吸モニターの贈呈



国際ソロプチミスト熊本-わかば様より、累計29台目の乳児用呼吸モニターを寄贈いただきました。園長会において上野理事長より、小山保育園 福永園長先生へ贈呈されました。今後の保育の安全に役立てていきたいと思います。国際ソロプチミスト熊本-わかばの皆様、ありがとうございました。

木登りができないかな 広福乳児園



園庭の中央にシラカシの木があります。植栽から6年ぐらい経つのですが、立派に成長しています。時期を同じくして植えた木が何本かあるのですが、ダントツに一番よく成長し、幹や枝も大きくなってきました。

秋が来るとドングリが落ちてきますので、子どもたちがそれを収集します。そして時には、そのドングリと葉っぱ、他にも土や砂や水を使ってお料理がつくられます。最近では、お料理が完成すると「これママに見せる！！」という意見が多いので、出来たお料理が玄関先に並んでいます。



木がどんどん成長していくので、去年から木登りが出来ないかと試行錯誤している所です。実際に促してみると、先生が見守る中でブランブランと枝にぶら下がるようになりました。一人が始めると段々と集まってきます。2歳児さんが木登りをしていると「僕もする！！」と1歳児さんが寄ってきます。遊びの先輩後輩関係が出来上がっています。



今はまだブランブランとぶら下がっているだけですが、木の成長とともに、これからは本当に木登りが出来るように成っていったらなと考えています。



春の訪れを感じながら 小木こども園



外で過ごす時間が心地よい時期になってきました。子どもたちに「お外に行こうか」というと「やったあ」と大きな声が返ってきます。晴れやかな表情で目を輝かせ靴を履いたこどもたちは、桜の木の下でゆっくりとした時間を過ごしてみたり、花びらを拾い集めたり、友だちを誘い合っているいろいろなあそびを展開したりと暖かい陽気の中で思い思いのあそびに没頭しています。

豊かな自然が身近にいくつもあるため、それぞれのクラスが色々なところで外あそびを展開しています。



芝生のベッドでくつろいだりするのもこの季節にはもってこいの時間のようで、一人が寝転がると私もと次々にこどもたちが集まってきます。日差しに目を細めつつもなんともうれしそうなこどもたち。



一方、山を駆けまわり虫を発見すると友だちに声をかけ一緒に懸命に探し始めます。捕まえると顔を突き合わせ虫を熱心に観察する姿。自然の中には無限のあそびが詰まっていることを実感させられる場面でもあります。これからも自然を身近に感じ四季を感じながら日々の保育に取り組んでいきたいと思えます。

お別れ遠足&テーブルマナー 報徳保育園



当園では、コロナ禍で出来なかった4歳児・5歳児クラスのお別れ遠足とテーブルマナーを昨年から再開しています。他のクラスは園庭や近くの公園で遠足を楽しみます。

当日は、御船町の恐竜博物館を見学し迫力満点の恐竜の骨格標本やアンモナイト等々の化石を見て大興奮。また、別の部屋では化石の取り出し作業を熱心に観察しました。最後は大きなティラノサウルスと一緒に記念写真に納まり博物館をあとにしました。



お昼近くには熊本市のホテルに到着。早速、手洗いを済ませテーブルマナー開始。子どもたちは



テーブルごとに数人に分かれて着席、その後ホテルのスタッフからメニューや食器を使う順番、布ナフキンの使い方などの説明を受けました。最初はいつもと違う会場で少し緊張していた子どもたちも、料理が出てくる頃には、すっかり雰囲気にも慣れてナイフとフォークを使い分けながらコース料理を楽しみました。

卒園後も繋がれる園に みのり保育園



子どもたち、保護者が集まるきっかけを通して、コロナ禍で失われてきた対面での交流を増やし、日頃の生活がさらに輝くきっかけとなればという願いで秋まつりを開催しました。コロナ禍での子どもたちは、卒園してからお友達に会うことができず「みんなに会いたい」という卒園生の声が多くありました。行事の開催当日だけではなく、開催に向けて園児と卒園生が交流できる場を増やすために、子どもたちの話し合いの時間を設けて行事の内容を決めました。当日は年長クラスで田植え、稲刈りをして収穫したお米を羽釜で炊き、自治会の皆さんと協力してカレーライスを作りました。保護者の方からも出店やバザー等にご協力をいただきました。

園児はいつもの園と少し違った雰囲気の中でしたが、様々な方との交流に目を輝かせて楽しんでいる様子が多く見られました。子どもたちにとって安心のできる関係がさらに広がっていけばと願っています。



毎日子育てを頑張っている保護者の方にも、交流の場を通して一息つくきっかけとなり、日常の悩みや相談が気軽にできる時間となればと思います。行事の見直しや業務削減も大切なことですが、子どもたちに必要な事は守っていききたいと感じる行事となりました。

ぷち得情報



日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなものを集めてみました。皆さんでご覧ください。

こども本の森 熊本

今回は4月8日に開館しました『こども本の森 熊本』をご紹介します。『こども本の森 熊本』は、建築家の安藤忠雄さんの未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、更には熊本地震からの復興を応援したいとの思いから、子どもたちへ贈られた図書館です。“本からの感動は生きるための力になります。常識にとられない広い視野で物事を考え、勇気をもって行動する力。一人でも多くの子どもたちにその感動を味わってほしい、熊本から、元気に明日の世界へと飛び立ってほしい。”という願いが込められています。時間帯ごとの定員を50名(事前予約枠30名・予約なし枠20名)として、完全入れ替え制で利用ができます。詳しくはQRコードをご確認ください。



5月の予定



| | | |
|--------|----------|----------|
| 5月通常総会 | 5月25日(土) | ホテル熊本テルサ |
|--------|----------|----------|

ご結婚おめでとうございます



| | | | | |
|--------|-----------|------|--------|------------|
| 飽田東保育園 | 令和6年3月15日 | 保育士 | 福田 華 | 先生 (旧姓：長坂) |
| こすえ保育園 | 令和6年4月 4日 | 保育教諭 | 西村 沙弥佳 | 先生 (旧姓：石田) |
| 田迎こども園 | 令和6年6月 9日 | 保育教諭 | 倉本 七海 | 先生 (旧姓：徳崎) |